

9月10日は 下水道の日です

下水道は、快適な生活を確保し、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。

町では、「快適でうるおいのある生活環境づくり」を重点事業として、現在も下水道整備を進めています。

○快適な生活を

下水道は、浄化槽やくみ取り式トイレなどの設備と比較すると、維持管理の手間が少なく、また、使用料は維持管理費と同額かそれよりも安くすみます。

○早期の接続を

下水道法により、下水道を利用できる区域にお住まいの方は、下水道に遅滞なく接続することが定められています。早期の接続にご協力ください。

下水道に接続する際は、町が指定した「排水設備指定工事店」が工事を行います。

○融資あっせん制度のご利用を

工事の費用軽減を図るため「水洗便所改造資金あっせん制度」があります。これは、工事に要する

資金を金融機関から融資してもらい、その利子を町が負担する制度です。

まだ接続されていない方はこの制度を利用し、一日も早く下水道に接続しましょう。

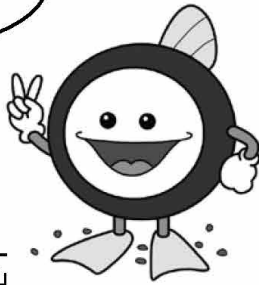
○下水道を正しく使いましょ

台所で野菜くず、油などを流すと、排水管が詰まる原因になり、悪臭が発生する場合がありますのでやめましょう。

同様に、水洗トイレに紙おむつや水に溶けにくいティッシュペーパーなどを流さないようにしましょう。便器や排水管を詰まらせる原因になります。

▼問合せ 上下水道課下水道業務係 ☎76919

1日も早く下水道に接続しましょう！



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

那須の歴史余話(18)

諸生党と天狗党②

戊辰戦争によって、水戸藩内の勢力は一転した。藩政を握っていた諸生党に対し、慶応4年(1868)1月、朝廷は「諸生党追討令」を発したのである。

これに勢いをつけた天狗党の残党は、水戸藩に戻り、諸生党の間で再度抗争が起った。賊軍となった諸生党はたちまち勢力を失い、市川三左衛門らは水戸を脱して会津へ向かった。天狗党が藩内での権力を掌握すると、諸生党やその家族に対して激しい報復を行い、多くの諸生党士民が処刑され、また投獄されたのである。

3月10日、水戸を脱した諸生党軍は会津藩や桑名藩の隊と合流して新政府軍との戦闘に参加した。その経路は新潟、長岡をはじめ一部は佐渡へ渡った。戦況が悪化するとう会津での籠城戦に参戦した。

しかし9月22日、会津藩が降伏すると会津を脱し、水戸城を目指すのである。だが9月27日、片府田(現大田原市)で大田原藩兵・彦根藩兵などの軍勢に捕捉され、戦死者6名を出した。更に、佐良士(同)にて黒羽藩兵と交戦し、11人の死者を出す。9月29日に水戸城下に到着し、弘道館を占拠して立

て籠もる。これに対し天狗党は10月1日に攻撃を開始、激しい銃撃戦が行われた。戦死者約90名をはじめ多くの負傷者を出し、翌2日夜になって退却した。水戸を脱した諸生党軍は10月4日に銚子において小見川藩兵と高崎藩兵の攻撃を受け敗走。10月6日、八日市場で天狗党軍の追撃を受け、松山村にて多数の戦死者を出して、ついに諸生党は壊滅した。

文久3年(1863)8月18日、公武合体派が、長州藩を主とする尊皇攘夷派を京都から追放した事件後、水戸藩はいち早く尊王攘夷を掲げて蜂起した。藩内党争の結果多くの優秀な人材を失い、新政府に参画できなかつた水戸藩に対し、かたや新しい時代をけん引した薩摩、長州藩と明暗が分かれたのである。

戊辰戦争は多くの犠牲者を出している。那須地方でも例外ではない。それを記録するものに敵であった諸生党の戦死者を弔う供養碑も建っている。時代に翻弄された者への供養であろう。心む思いがした。



大田原市片府田にある諸生党戦死供養碑